

バイオマス発電のライフサイクルGHGに係る自主的取組等の情報開示について（2023年4月-2024年3月）

伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社

FIT/FIP制度に基づくバイオマス発電事業において使用したバイオマス燃料について、事業計画策定ガイドライン（バイオマス発電）に基づき、以下のとおりライフサイクルGHGに係る自主的取組等の情報を開示します。

当社は、ライフサイクルGHG排出量の基準に照らした最大限の排出削減に向け、以下の取組を進めています。

- 安定稼働を通じた熱効率向上
- アジアバイオマス活用による海上輸送起因のGHG排出低減

※2024年4月以降は持続可能性（合法性）が確認されたPKSを使用

番号	設備情報							燃料情報							ライフサイクルGHG			
	設備ID	認定事業者	設備名称	新規認定年度	変更認定年度	バイオマス比率	バイオマス比率考慮後出力(kW)	発電専用/熱電併給	開示単位	燃料区分	燃料名	収集地域	持続可能性の確認方法	使用量(t)	固有識別番号	確認方法	計算方法	算定値(g-CO2eq/MJ電力)
1	O943142D16	伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社	伏木万葉埠頭バイオマス発電所	2016		100%	51,500	発電専用	調達事業者	C	輸入木質ペレット	インドネシア、カンボジア、マレーシア、インドネシア	PEFC、FSC等	約8万t	—	—	既定値	50
2	O943142D16	伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社	伏木万葉埠頭バイオマス発電所	2016		100%	51,500	発電専用	調達事業者	C	PKS	インドネシア	GGL※	約1万t	※	※	既定値	25